

青少年のインターネット・リテラシー指標等

[ILAS : Internet Literacy Assessment indicator for Students]

- 総務省では、**インターネット上の危険・脅威に対応するための能力**とその現状を可視化するため、2012年度にこれらの能力を数値化するための**テストを指標として開発**し、2012年度以降、毎年、**全国の高校生**（1年生相当）を対象に、インターネットの利用状況に関するアンケートと併せて**実施し、結果を公表**。（2022年度実施対象：100校、15,333名）

インターネットトラブル事例集

- 子育てや教育の現場での保護者や教職員の活用に資するため、インターネットに係るトラブル事例の予防法等をまとめた「**インターネットトラブル事例集**」を2009年度より毎年更新・作成し公表。

e-ネットキャラバン

- 子どもたちのインターネットの安全な利用に係る普及啓発を目的に、児童・生徒、保護者・教職員等に対する**学校等の現場での無料の「出前講座」**を全国で開催。（2022年度実績：2,226件、約36万人）

春のあんしんネット・新学期一斉行動

- 毎年、新入学・進学時期（**2月～5月**）に合わせて「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として、内閣府取りまとめのもと、総務省その他の関係省庁が、自治体、関係団体等と連携し、**啓発活動等を集中的に実施**。総務省では、地方総合通信局において、e-ネットキャラバンのほか、様々な媒体を活用した周知等を実施。

情報通信の安心・安全のための標語

- 情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティ等に関して、**標語を募集**し、優秀作品の中から「**総務大臣賞**」（学校部門及び個人部門各1点）**等を選定・表彰**。受賞作品を用いた啓発活動を行うことを通じ、情報通信利用者の意識向上を図ることを目的とし、2008年度から毎年実施。

2022年度 総務大臣賞受賞作品

学校部門	「あたたかい 言葉や世界を リツイート」	個人部門	「石橋を 叩いて送る メッセージ」
------	----------------------	------	-------------------

高校生ICTカンファレンス

- ICT活用のあり方について、高校生が自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、青少年のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指すために開催。（2011年より実施）
2022年度は、各地域開催や各地域代表者による討議を実施後、最終報告会（12/15）にて**総務省等に提言**。

フィルタリングの利用促進

- 「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」、また当該会合を改組する形で令和4年12月に設置された「青少年のICT活用のためのリテラシー向上に関するワーキンググループ」において、「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する新たな課題及び対策」に基づき、フィルタリングの継続的な利用を促す取組の推進等について、**フォローアップを実施**している。

青少年フィルタリング及び海賊版対策に係る啓発動画

- **青少年フィルタリングサービスの普及促進**とインターネット上の海賊版対策の一環として、出版業界及び携帯通信事業者等と協力して青少年から大人まで幅広い年齢層から人気の「僕のヒーローアカデミア」を素材とする**啓発動画**「フィルタリングサービス『NEWヒーロー?』編」を作成・公表。総務省、関係府省庁、関係事業者・団体のホームページや全国の携帯ショップの店頭、青少年の啓発現場等において活用している。スポーツ試合においても動画放映を実施。

「鷹の爪団の#NoHeartNoSNS大作戦」

- 「**#NoHeartNoSNS（ハートがなげりゃSNSじゃない!）**」をスローガンとするインターネット上の**誹謗中傷対策の一環**として、人気キャラクター『秘密結社 鷹の爪』とコラボした「鷹の爪団の#NoHeartNoSNS大作戦」特設サイトを開設。アニメーション動画（全5話）、漫画、パンフレットデータ等を掲載。2022年度は、**改正プロバイダ責任制限法**（2022年10月1日施行）をわかりやすく解説した**最新話（第5話）を公開**。